

クライアントのより良い作業を引き出す接し方のコツ

主催：臨床実践に役立つ理論研究会

開催日：2021年4月25日（日）

10：00～16：00（途中、昼休憩あり）

日々の臨床では、クライアントと話をしないことはないでしょう。話をすることは作業療法で作業を用いるためには、不可欠だと言われています。クライアントの変化を引き出すのは、身体的なアプローチだけではありません。話をする、会話するという事は、情報収集だけではなく、自分自身の言動を治療的に意図して取り入れることで、治療としても活用することができます。作業を用いることだけでなく、話をすることも、他職種にはない作業療法士としてユニークな点であり、領域関係なく求められているスキルなのではないでしょうか。

作業療法の実践理論である人間作業モデル（MOHO）では、クライアントの作業への取り組みを支援するための作業療法士の言動や振る舞いが示されています。今回は、これらの言動、振る舞いの紹介、解説に加えてクライアントが作業に取り組む側面と変化についても説明致します。

場 所：Zoom を利用したオンラインセミナー

対 象：作業療法士、作業療法学生（領域は問いません）

講 師：笹田 哲（神奈川県立保健福祉大学大学院 教授）

参加費：作業療法士 4,000 円 作業療法学生 1,000 円

生涯教育ポイント：1 ポイント

申し込み期間：2021年4月23日（金）まで

定員：30 名

定員に達した場合は、キャンセル待ちをお願いすることがございます。

希望される方に少しでも多くご参加頂けるようキャンセルの際は必ずご連絡お願い致します

申し込み方法：uottip456@gmail.com まで以下の内容を添えてメールでお申し込み下さい
「gmail.com」からのメールを受信できるように設定してください。

●メール記載内容

件名 2021年4月25日 参加申し込み

本文

①氏名

②所属

③連絡先メールアドレス (PDF ファイルが添付可能なアドレス)